



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL <https://ifuji.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,928	△1.0	668	1.5	689	2.5	475	△10.9
2022年3月期第2四半期	9,020	42.0	658	33.2	672	32.8	534	48.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 476百万円(△10.8%) 2022年3月期第2四半期 534百万円(47.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	57.88	—
2022年3月期第2四半期	65.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,957	7,905	66.1
2022年3月期	11,759	7,529	64.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,905百万円 2022年3月期 7,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	16.00	28.00
2023年3月期		14.00			
2023年3月期(予想)			—	18.00	32.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2023年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭(創立50周年記念配当)

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,059	3.6	1,333	0.6	1,358	0.1	919	△7.7	112.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	8,345,370株	2022年3月期	8,345,370株
2023年3月期2Q	101,306株	2022年3月期	133,606株
2023年3月期2Q	8,223,786株	2022年3月期2Q	8,191,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染再拡大に警戒しながらも各種感染対策により経済社会活動の正常化が進み、個人消費に回復の動きが見られるなど景気は緩やかに持ち直してきたものの、円安の進行やウクライナ問題の長期化等により物価が上昇し、景気の先行きに不透明感が出てまいりました。

食品業界におきましては、世界的なインフレの影響等により原材料価格が上昇し、値上げが相次ぎました。また、鶏卵業界では、飼料価格が高騰し鶏卵の需給動向や鶏卵相場への影響が懸念されております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、液卵関連事業において鶏卵相場が低下したことに伴い連動する販売単価も低下したこと等により、前年同期比1.0%減の8,928百万円となりました。

一方、損益につきましては、連結営業利益は同1.5%増の668百万円、連結経常利益は同2.5%増の689百万円となり、いずれも第2四半期連結累計期間において過去最高となりました。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に繰延税金資産72百万円を追加計上しましたが、当第2四半期連結累計期間においては追加計上がなかったことにより同10.9%減の475百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵関連事業

当セグメントにおきましては、主要な商品である液卵の販売単価及び原料の仕入単価が鶏卵相場に連動して変動するものが多くあり、鶏卵相場が高く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに高く推移します。逆に、鶏卵相場が低く推移した場合は販売単価及び仕入単価はともに低く推移します。そのため、販売単価と仕入単価の差益の一定額以上の確保と販売数量の確保により利益が最大になるように努めております。

当セグメントにおける売上の指標である販売数量につきましては、前年同期比3.6%増となりました。これは主に、前連結会計年度に獲得した取引先や既存取引先への販売が順調に推移したこと等によるものであります。

売上高につきましては、販売数量は増加したものの、鶏卵相場（全農東京Mサイズ基準値）が前年同期比10.9%（26円/kg）低下したことに伴い連動する販売単価が低下したこと等により、液卵売上高は前年同期比2.9%減の7,744百万円となりました。また、加工品売上高はゆで卵や卵白プロテインの販売増等により同65.3%増の346百万円、その他売上高は同15.3%増の318百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同0.6%減の8,409百万円となりました。

セグメント利益につきましては、前述のとおり販売数量が増加したこと、また鶏卵相場が低下したことに伴い仕入単価が低下したこと、工場の生産効率の向上や歩留まりの向上による製造コストの削減に努めたこと等、業績を向上させるべく様々な施策を講じた結果、前年同期比2.9%増の631百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、前年同期比0.5%増の590百万円となりました。

セグメント利益につきましては、採用関連費用等の販売費及び一般管理費の増加により同19.8%減の27百万円となりました。

③その他

当セグメントは太陽光発電であり、売上高は前年同期比1.9%増の15百万円となりました。

セグメント利益につきましては、設備の修理費用の増加等により同11.7%減の9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は11,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しました。

流動資産は7,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加180百万円、商品及び製品の増加423百万円、原材料及び貯蔵品の増加115百万円、現金及び預金の減少537百万円等によるものであります。

固定資産は4,902百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産のその他に含まれている建設仮勘定の増加83百万円、建物及び構築物の減少22百万円、機械装置及び運搬具の減少90百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ177百万円減少しました。

流動負債は2,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加107百万円、流動負債のその他に含まれている未払金の減少115百万円等によるものであります。

固定負債は1,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少176百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は7,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ376百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益475百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、前年同期に比べ87百万円減少し2,124百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ104百万円減少し50百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上689百万円、減価償却費の計上202百万円、仕入債務の増加107百万円等により資金が増加し、棚卸資産の増加542百万円、売上債権の増加180百万円、法人税等の支払い220百万円等により資金が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ189百万円増加し277百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出273百万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ25百万円増加し311百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出192百万円、配当金の支払額131百万円により資金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2022年8月4日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,199	2,662
受取手形及び売掛金	2,254	2,434
商品及び製品	883	1,306
仕掛品	57	60
原材料及び貯蔵品	395	511
その他	46	92
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	6,824	7,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,689	1,667
機械装置及び運搬具（純額）	1,061	971
土地	1,915	1,915
その他（純額）	37	115
有形固定資産合計	4,704	4,669
無形固定資産	8	7
投資その他の資産		
投資有価証券	123	127
繰延税金資産	86	86
その他	15	15
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	221	225
固定資産合計	4,934	4,902
資産合計	11,759	11,957
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	667	774
短期借入金	1,002	999
未払法人税等	251	225
未払消費税等	—	12
賞与引当金	79	76
その他	862	764
流動負債合計	2,863	2,851
固定負債		
長期借入金	775	599
長期未払金	562	562
繰延税金負債	—	2
その他	28	36
固定負債合計	1,367	1,200
負債合計	4,230	4,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	382	392
利益剰余金	6,737	7,082
自己株式	△86	△65
株主資本合計	7,489	7,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	41
その他の包括利益累計額合計	40	41
純資産合計	7,529	7,905
負債純資産合計	11,759	11,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	9,020	8,928
売上原価	7,362	7,147
売上総利益	1,657	1,780
販売費及び一般管理費	998	1,112
営業利益	658	668
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	2
受取賃貸料	12	12
その他	4	10
営業外収益合計	18	24
営業外費用		
支払利息	4	3
営業外費用合計	4	3
経常利益	672	689
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	672	689
法人税、住民税及び事業税	207	211
法人税等調整額	△69	2
法人税等合計	138	213
四半期純利益	534	475
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	534	475

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	534	475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	534	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	672	689
減価償却費	178	202
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△3
受取利息及び受取配当金	△1	△2
支払利息	4	3
固定資産除売却損益 (△は益)	0	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△178	△180
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△454	△542
仕入債務の増減額 (△は減少)	33	107
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14	12
その他	△50	△14
小計	191	272
利息及び配当金の受取額	1	2
利息の支払額	△4	△3
収用補償金の受取額	205	—
法人税等の支払額	△239	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	155	50
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△204	△524
定期預金の払戻による収入	204	524
有形固定資産の取得による支出	△84	△273
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△87	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32	13
長期借入金の返済による支出	△202	△192
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△114	△131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285	△311
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△217	△537
現金及び現金同等物の期首残高	2,429	2,661
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,211	2,124

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,463	541	9,005	14	9,020
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	46	—	46
計	8,463	588	9,051	14	9,066
セグメント利益	614	34	648	10	658

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	648
「その他」の区分の利益	10
四半期連結損益計算書の営業利益	658

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	液卵関連事業 (注2)	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,409	503	8,913	15	8,928
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	87	87	—	87
計	8,409	590	9,000	15	9,015
セグメント利益	631	27	659	9	668

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	659
「その他」の区分の利益	9
四半期連結損益計算書の営業利益	668

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
液卵	6,675	—	6,675	—	6,675
凍結卵	1,302	—	1,302	—	1,302
卵加工品	209	—	209	—	209
その他鶏卵関連	276	—	276	—	276
調味料	—	541	541	—	541
その他	—	—	—	14	14
顧客との契約から生じる収益	8,463	541	9,005	14	9,020
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,463	541	9,005	14	9,020

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	液卵関連事業 (注2)	調味料関連事業	計		
液卵	6,434	—	6,434	—	6,434
凍結卵	1,310	—	1,310	—	1,310
卵加工品	346	—	346	—	346
その他鶏卵関連	318	—	318	—	318
調味料	—	503	503	—	503
その他	—	—	—	15	15
顧客との契約から生じる収益	8,409	503	8,913	15	8,928
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,409	503	8,913	15	8,928

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 第1四半期連結会計期間より、事業の内容をより明確化するため、セグメントの名称を鶏卵関連事業から液卵関連事業に変更しております。事業の内容につきましては変更はありません。